

2019. 4. 1

暖かい春の陽気の中、スミレやタンポポの花が咲き、ウグイスのさえずりが谷津に響きわたります。待ちに待った春、木々の先端には淡くやさしい色合いの葉が見られ、さわやかな季節の到来です。田んぼや池では、アカガエルやヒキガエルのオタマジャクシ、メダカが元気に泳いでいます。



フデリンドウ



ツクバキンモンソウ



ホタルカズラ



チゴユリ



ツボスミレ

雑木林の花たち

足もとに咲く可憐でかわいい花。散策が楽しみです。



アカネスミレ



タチツボスミレ



ヒトリシズカ



シュンラン



ニリンソウ



ミツバツチグリ



モンシロチョウ



キタキチョウ



ツマキチョウ



蜜や花粉を求めて飛ぶチョウ



ミヤマセセリ



ベニシジミ



ヒオドシチョウ

ひなたぼっこ？



ルリタテハ

＜季節メモ＞ チョウは環境の指標生物です！

チョウは幼虫期に特定の植物を食べ、成虫期には花を訪れて受粉するなど植物とのかかわりが深い生き物です。メスが食草を探す鍵は“味”、前脚で植物の葉の表面を叩いて食草であるかを確認しています。多くのチョウは前脚の裏側に**感覚毛**があり、その中にある神経細胞で葉の表面の化合物を確認・識別するとのこと。幼虫の食べる植物を探し当てて産卵するチョウはすごいですね。チョウの種や数の多さは、食草の豊かさに通じ、里山環境のバロメーターといえます。

写真・編集：晝間